



愛と創造

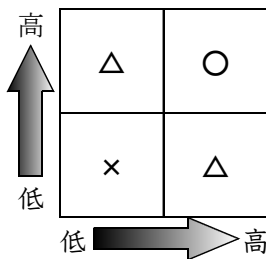
山形市立第十中学校
学校だより
H29.6.8 NO.2

充実の2ヶ月・・・・・・・・

新年度開始から、2ヶ月が経過しました。この間（4月、5月）には、大きな行事が続きました。新任式、始業式、入学式、生徒会入会式、市駅伝大会、PTA 総会、生徒総会、全校一斉ボランティア（犬川等の清掃）、修学旅行、職場体験活動、宿泊学習など、生徒にとっても忙しい2ヶ月でした。しかし、それぞれの行事には、明確な「ねらい」があり、教育的活動があります。今は、一つ一つの行事で成長した生徒の姿を実感しているところです。

そんな学校生活の中、6日の全校朝会で次のような講話をしました。

＜講話の概要＞



これは集団を表しています。○は満足度の高い集団、×は低い集団、△はその中間と考えて下さい。○の集団は、一人一人の力を引き出し集団の力を発揮させますが、×の集団はその反対です。

その集団が学級であれば、○の学級とは互いの人間関係が良好でみんなの規範意識が高く、居心地の良い学級ということです。

集団の質をつくる要因は、「ルール」と「関係性」だと広く言われています。

◇ルール:規範意識が高い集団

◇関係性:よい人間関係ができている集団

ですから学級担任の先生は、「ルール」と「関係性」を自分の学級で構築しようと、日々努力しているわけです。○の学級は、所属している一人一人の力を引き上げ、全体として高い力を発揮させることができます。だから、勉強でも諸活動でも成果を上げることができます。

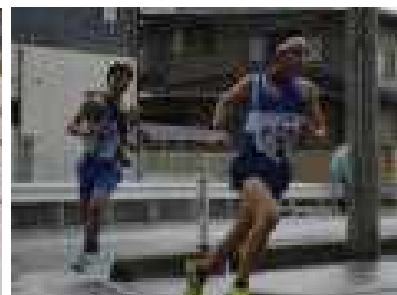
現在、本校では、レベルの高い「ルール」に挑戦しています。「黙々清掃」のルールです。決められた一定の時間は「全校生徒と全職員が無言」「自分で考えて清掃する」ことですから、集団のルールとしては、かなりレベルの高いものです。現在100%の完全な完成に向けて、取り組んでいます。

もう一つは「関係性」です。「関係性」を作る基本中の基本はあいさつです。集団の関係性と明るいあいさつとは、深く関係しています。

このように、本校で「黙々清掃」と「明るく爽やかなあいさつ」を重点にしている意味はここにあります。集団の理論は、学級集団に限ったことではありません。部活動の集団でも同じことです。「ルール」と「関係性」が高い部活動は、高い力を発揮できると思います。清掃とあいさつが高いパフォーマンスの発揮に大いに関係していることは、全国の実施校を見ると明白です。

この2ヶ月を振り返って・・・・・・・・

- **駅伝大会**（4/15） 男子2位（1位と3秒差） 女子3位（祝） 男女県大会出場
雨の中、全校生徒が一生懸命応援してくれました。県大会が楽しみです。



□ **生徒会総会** (5/1)



「十中爽活躍」・・・
「総活躍」→「爽活躍」には、「爽やかにみんなが活躍する」という意味が込められています。「明るく爽やかなあいさつ」が、爽やかな人間関係をつくる、という執

行部の提案でした。

□ **全校一斉ボランティア** (犬川清掃+公園清掃) (5/1)



1・3年が川原の清掃(富の中公園～南沼原中央公園まで)を行い、2年生が近隣の公園の清掃を行いました。作業を始める前は、例年よりゴミが多いように感じましたが、500人以上の生徒、教職員で一気にきれいになりました。

□ **1年: 宿泊学習** (5/11～12)

山形市少年自然の家で、1年生全員で宿泊学習を実施しました。入学して1ヶ月ですから、準備は大変だったことでしょう。スローガン「仲間を認め合い、協力し、笑顔あふれる宿泊学習にしよう」のもとで、集団づくりのよい機会となりました。



□ **2年 職場体験学習** (5/10～12)



約70箇所の事業所の協力を得て、職場体験活動を行いました。働く体験はとても貴重です。中学時代の職場体験で自分の就職先を選んだ、ということもよく耳にします。

□ **3年 修学旅行** (5/10～12)

初日 : 鎌倉研修

2日目 : 都内体験学習
都内班別研修

3日目 : 東京 DL、DS

写真は、江戸の職人体験学習。

「江戸切り子」(左)

「江戸文字」(右)



